

- ▶ 文京区では、区有施設整備における木材利用や環境教室など各種事業を通じて、区民の森林環境に対する意識の醸成に取り組んでいる
- ▶ 地球温暖化対策地域推進計画では、区有施設への環境に配慮した資材等の活用を、区の率先行動として行動計画に位置付けている。
- ▶ 令和元年度においては、以下の取組により、公共施設工事における木材使用を行った。
 - ・ 多摩産材を活用し、学校施設快適性向上事業において、校舎廊下に腰壁を設置した。

□ 事業内容

区有施設の木質化事業（学校施設快適性向上）

- ・ 築30年以上が経過している小学校及び中学校について、快適な教育環境とするため、木材を活用して内装等を改修
- ・ 多摩産材を活用し、学校の廊下に腰壁を設置



（礫川小学校の廊下）

□ 事業実績

【事業費】1,014,712千円（うち譲与税8,594千円）

【実績】施設数：6校 木材使用量：15.7m³

□ 工夫・留意した点

- ・ 施設をより安全に快適に使用できるように、傷や汚れのつきやすい位置に腰壁を設置した。
- ・ 内装を木質化することで、木材の循環利用だけでなく、児童・生徒が日常的に木材と触れ合う場となり、利用者等の森林環境の意識醸成に繋がる。

□ 基礎データ

①令和元年度譲与額	8,594千円
②私有林人工林面積（※1）	0.00 ha
③林野率（※2）	0.00 %
④人口（※3）	219,724人
⑤林業就業者数（※4）	6 人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より